



志木二小だより

平成29年5月号

志木市立志木第二小学校
埼玉県志木市館1丁目2番1号
電話 472-0540

//// 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** //

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	5/1現在	昨年同時期
	78	75	83	103	86	88	14	527名	539名



残心(ざんしん)

校長 安田 一也

どこまでも透き通る青空に向かい、一生懸命に葉を広げようとする若葉に志木二小の子どもたちの姿が重なります。新緑が目まぶしい風薫る五月となりました。

さて、本校では、学校教育目標の具現化に向け、年間生活目標を掲げ、正しい姿勢と3つの「あ」（あいさつ・あとみぐせ・あきらめない心）を合言葉に望ましい基本的な生活習慣の定着を図っています。



今月は、「あとみぐせ」について触れたいと思います。日本の武道や芸道において、使われる言葉に「残心」（ざんしん）があります。この残心は、「あとみぐせ」を言い当てている教えであると捉えています。

剣道では、相手に打ち込み、見事、面や胴を打ったとしても、それで良しとしていません。ほっとした瞬間、相手から反撃される可能性があったり、こちらでも連続して技を仕掛けたりできる機会があるからです。そのため、打っただけ、当たっただけでは一本とみなされず、審判の合議の上で取り消しとされることもあるようです。ましてや、喜んでガッツポーズをするのは言うに及ばずです。一つの動作を終えた後でも緊張を持続させ、心身の備えを怠らないという心構えが大切にされています。

このことは、学校生活や日常的な所作にも通じます。単に片づければ、終われば、しまえばそれで済むことではありません。たとえば、下駄箱で上履きに履き替えたあとの外履きの置き方、図書室の本を戻すときの戻し方、教室のドアの閉め方、給食後の食器の返し方など何気ない動作や行動の一つ一つに気を配る必要があると思います。また、テストやプリントの見直しや間違い直しも同様と考えます。

「終わってしまえば、それでおしまい」ということではなく、「常にその先に何があるか」、「その次は何をすればよいか」に思いを巡らせ、気を緩めることなく責任をもって行動する習慣を身に付けさせたいものです。

新年度スタートから1ヶ月。学校生活が軌道に乗り始めた今だからこそ、全校で意識させる必要があると感じています。

